

日曜日が待ち遠しい大人たち

東木協第2班
木魚の樹

かつて「日曜日が待ち遠しい！」というフランス映画がありましたね。まあ中味の違いはさて置き、ここ日本でも、埼玉県の片隅で活動する、日曜日が待ち遠しくてたまらない大人たちがいます。紹介しましょう。

◆見沼田んぼと自転車クラブ

ところで皆さんは「見沼田んぼ」をご存知でしょうか？新木場から北北西に直線距離で約30km、見沼田んぼはさいたま市の東部に位置し、旧浦和市・旧大宮市にまたがる面積およそ1,260ヘクタールにおよぶ広大な農地です。アクセス手段としては、新木場駅からならば、JR武蔵野線に揺られること約1時間、東浦和駅で下車したあたりが丁度見沼田んぼの南端になります。

かつてはその名の通り、延々と広がる水田地帯だったようですが、現在では水田以外にも野菜畑、果樹園、花卉園などさまざまなスタイルの農業が営まれているほか、小区画に区切られた農地が一般に貸し出され、家庭菜園のメッカともなっています。また日本一長いと言われる桜並木も有名ですし、エリア内には大きな公園も何ヶ所か整備され、一年を通じて市民の憩いの場となっています。



秋の見沼田んぼ。こんな光景がずっと続きます

さて、この見沼田んぼを活動拠点とするサイクリングクラブがあり、縁あって私も昨年入会して以来、ぼちぼち活動に参加しています。メンバーは小学生から70歳台まで三十数人。「ご近所さん」的なゆる〜い連帯感で運営されているローカルなクラブです。活動の基本は毎週日曜日の朝の練習会で、見沼田ん



夏の朝練。ひまわり畑を快走



奥秩父にて。山岳ツーリング

ぼのなかに設定した距離20kmくらいのコースを周回し、走行後はツーリングの企画や自転車談議に花を咲かせています。その他、県内のサイクリングイベントの手伝いなどにも参加します。

◆いよいよ本題「大人の遊び」

普通に考えれば、サイクリングクラブが自転車にまつわる活動をしていること自体は、あまりに当たり前で、大して面白い話ではありませんね。そこで自転車に関する話はこれくらいにして、今クラブの自転車乗りたちをすっかり夢中にさせている「基地（ベース）作り」のお話をしましょう。

「基地」って一体何のこと？ 事の起こりに話を遡ると……。メンバーの数人がかねて懇意にしている見沼の農家がありまして、田んぼや畑仕事に人手が必要なときにクラブの有志を募って手伝いに行ったりしていたのですが、昨冬その農家のご主人から「朝練のコース沿いに100坪くらいの農地があるからクラブで何かに使ってもらって構わないよ」という有難い申し出をいただいたのが発端です。場所的にも朝練のコース上にあったので、まず手始めに冬の朝練後に暖を取る所を作ろうと、通称「謎の管理人」氏とともに焚き火を始めたのが基地の始まりです。

話は逸れますが、1月から2月にかけて見沼田んぼの朝はとても寒く、マイナス5度以下になることもしばしば。そこを自転車に乗って時速30~40kmで走るわけですから、体幹はともかく、指先、爪先はどれだけ防寒対策をたてていても麻痺します。そんなときに焚き火にあたって、淹れたてのコーヒーを飲んでみたら……。もうみんなこの基地の虜ですよ。

閑話休題。そうこうするうちに焚き火がグレードアップして露天の囲炉裏になり、こうなってくるともう大人たちの遊び心は止まりません。囲炉裏を囲む話題はもっぱら畑作りがメインになり、春の音が聞こえてくるとさっそく土を耕し、種を植え、さらには作業中のわか雨をしのぐための東屋までが突然出現し……。このときばかりはさすがに「本当にサイクリングクラブなの？」と自分たちのアイデンティティーが揺らいだかも（笑）。

それでも収穫した野菜を食べながらの野外パーティーは格別です。これまでに「じゃがいもパーティー」、「枝豆パーティー」を開きました。特に枝豆を採ったそばからどんどん塩茹でにして食べるのは最高に美味しい！ビールが飲めないのが本当に残念（注：自転車は車輛なので飲酒運転はいけません。スポーツ車ならなおさらです）。



基地の始まりは焚き火から



井戸端会議ならぬ囲炉裏端会議



東屋も建てちゃいました



枝豆パーティー開催中

◆そこまでやるの？ ハイ、やります！

こんな感じで毎週日曜日の朝練後の午前中を、好い年をした大人たちがワイワイと楽しく過ごしていたのですが、夏のあるとき基地の片隅の地面に単管が突き刺さっているのを発見。まさかと思いながらも謎の管理人氏に尋ねると、やはり「井戸を掘り始めた」とのこと。以前から「井戸が欲しいよね。」と半分冗談で話題には上っていたのですが、ついに行動開始。ここまで来ると、基地作りも「遊び」というよりは、大人の意地をかけた「生き甲斐」といった雰囲気。基地の隣地の農家の方の話では、この辺りなら8メートルも掘れば手洗いや畑の水遣り用の水なら汲めるとのこと（飲料水は12メートル以上は掘らないと無理らしい）。インターネットで井戸の掘り方についてさまざまな情報は入手できるものの、実際の井戸掘り経験者はゼロ。しかも皆が集まって作業できるのは日曜日のみとあって、なかなか順調には捗りません。それでも子供連れで手伝いに来て、親子で夏休みをエンジョイしているメンバーも。皆が井戸の完成を心待ちにしています。



井戸掘り大作戦開始



夏場はやブ蚊が出ますがタマムシもあります

気がつけば耳に聞こえる虫の声も、いつの間にかセミから秋の虫たちが変わり、見沼田んぼにも確実に秋の気配が。この原稿を書いている時点では残念ながらまだ井戸は完成していませんが（あと1メートルくらい）、間もなく収穫を迎えるサトイモで芋煮パーティーを楽しみながら、来年の基地での活動プランについて仲間と語り合う日曜日が待ち遠しくてなりません（もちろん自転車のことも！）。

見沼田んぼに関する情報源

「見沼田んぼ」公式サイト www.minumatanbo-saitama.jp